

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

ロジスティードグループ株式会社（証券コード：―）

【新規】

長期発行体格付 格付の見通し	A 安定的
-------------------	----------

■格付事由

- 3PL 大手のロジスティード（旧日立物流）を 100%子会社とする持株会社。経営、資本、資金の観点から子会社との一体性は強い。本年 3 月 1 日付で吸収分割によりロジスティードのすべての事業を当社が承継する予定である。取引先の業界は多岐にわたり、優良顧客との長期安定した取引関係も維持されている。従来から海外展開を進めており、国内・海外一貫輸送など顧客の幅広いニーズに対する柔軟な対応力を有する。高度なシステム力も強みであり、高い提案力を支えている。
- 物流の効率化ニーズの高まりを背景に 3PL 市場は拡大傾向にあり、これに伴ってロジスティードの業績も堅調に推移している。国内・海外一貫輸送など顧客の幅広いニーズに対する柔軟な対応力を有していることに加え、高度なシステム力を背景とした高い提案力が当社の強みである。これにより優良顧客を中心に既存顧客からの受注拡大とともに国内外での新規顧客の獲得が進んでいる。フォワーディング事業は、コロナ禍においてサプライチェーンの混乱に伴う運賃の急騰等で業績が改善したものの、足元ではサプライチェーンの混乱の収束等による収支悪化がみられる。しかし売上高の約 6 割を占める 3PL 事業の業績は国内外ともに堅調であり、引き続き高いキャッシュフロー創出力を安定的に確保できるものと考えられる。当面の投資計画等を踏まえれば、財務構成の改善が進む可能性は高い。以上を踏まえ、当社の格付を「A」とし、見通しは安定的とした。
- ロジスティードの 24/3 期第 3 四半期累計の調整後営業利益（IFRS 適用）は 334 億円（前期比 9.5%減）となった。フォワーディング事業を中心とする海外事業の業績が前年を下振れているものの、3PL 事業の業績は堅調に推移している。25/3 期以降も収益環境が良好な 3PL 事業が連結業績を下支えしていく構図は変わらないものとみている。当社は引き続き海外事業の強化とともに、システム力の向上による顧客のサプライチェーン全体の最適化に向けた取り組みを進めている。これらの施策の実施状況と成果を確認していく。
- 近年続いたロジスティードにおける自己株式の取得やそれに伴う外部借入の増加等により、ロジスティードの財務構成は同業他社比で見劣りする水準にあったが、当社による吸収分割により財務構成は良化する見込みである。今後のキャッシュフロー創出力と投資計画を踏まえれば、当面プラスのフリーキャッシュフローが維持できるとみており、着実な自己資本の積み上げと有利子負債の削減が進む可能性が高い。

（担当）上村 暁生・加藤 直樹

■格付対象

発行体：ロジスティードグループ株式会社

【新規】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A	安定的

格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2024年2月22日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：窪田 幹也
主任格付アナリスト：上村 暁生
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2024年2月1日)、「陸運」(2020年5月29日)、「持株会社の格付方法」(2015年1月26日)、「国内事業法人・純粋持株会社に対する格付けの視点」(2003年7月1日)として掲載している。
5. 格付関係者：
(発行体・債務者等) ロジスティードグループ株式会社
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
 - ・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
 - ・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与：
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル